

次の時代へ

教育研修部

石井 正人

ISHII MASATO

コロナ禍の中、開催に賛否両論あった「東京2020オリンピック」が終了した。無観客開催ということもあり盛り上がりには欠けたが、日本のメダルラッシュは、次世代を担う子供たちに夢や感動を与えたのではないだろうか。私の孫も卓球や柔道の影響を受け、うれしい気持ちになった。パラリンピックでもメダルラッシュを期待している。

その喜びも束の間、西日本から東日本にかけて線状降水帯が停滞し、記録的豪雨による土砂崩れや河川の氾濫などで人的被害が出てしまった。ここ数年、ニュースなどで観測史上最大雨量、ゲリラ豪

雨、線状降水帯などの言葉を度々耳にする。このような異常気象の発生は、地球温暖化が原因であると言われている。

コロナ禍の厳しい状況の中、企業、自治体などでは、脱炭素社会の実現に向けた様々な取り組みを進めている。実現に向けては、私生活において環境に対する意識・行動も重要となっている。この機関誌が発行される秋には、コロナ禍が収束に向かっていくこと、異常気象による被害の発生がないことを願い、「人・環境に優しい時代」が近い将来に来ることを期待している。

編集後記

JWセンターでは、感染性廃棄物容器の評価事業を平成17年より実施しておりますが、同容器に係るアンケート調査を実施し、本号では調査報告を掲載しております。あわせて、アンケートの共同実施者の近畿大学医学部の池田准教授に、コロナ禍における感染性廃棄物処理についてご寄稿いただき「特別コラム」として掲載しております。

「コラム」では2030年食品ロス半減目標が掲げられ、目標達成に向けた取り組みが動き出していることが分かります。一人一人が身近なことから取り組むきっかけとなれば幸いです。

「連載」では前回の罰則規定に続き捜査側の警察活動等について分かりやすく解説していただいております。警視庁の階級

解説では銭形警部（ルパン三世）も登場します。

電子マニフェスト情報では、大阪市環境管理課産業廃棄物規制グループより、大阪市発注工事における電子マニフェストの義務化や、大阪市が排出する産廃処理における電子マニフェスト使用の取組みについてご紹介いただきました。自治体における電子マニフェスト使用の参考としていただければ幸いです。

最後になりましたが、記事をお寄せいただいた執筆者の皆様、本誌を読んでくださった読者の皆様に感謝申し上げます。（広報室）

■本誌に関する連絡先：総務部広報室（e-mail：jigyo@jwnet.or.jp）

〈アンケートへのご協力のお願い〉

より充実した誌面作りのために、本誌の記事内容等に関する読者アンケートを当センターホームページ（以下のURL）に掲載しています。本誌に関するご意見、ご要望を是非、お聞かせください。

URL https://www.jwnet.or.jp/info/kikansi/kikansi_anq/index.html

JWセンター情報（季刊）VOL.21 NO.3 発行日：2021年10月15日発行 発行人：関 荘一郎

発行所：公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア7階
TEL：03-5275-7111 FAX：03-5275-7112 <https://www.jwnet.or.jp/>
デザイン・印刷：大日本法令印刷株式会社